

2020 年度日本医学会の活動

門田 守人*

Monden Morito

* 日本医学会会長

1. 日本医学会総会

(1) 「第31回日本医学会総会 2023 東京」の準備

第31回日本医学会総会（2023年）は「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」をメインテーマとし、前回日本医学会評議員会（2020年2月28日書面開催）でシンボルマークとともに承認された。新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるが、組織委員会のもと、総会の開催形式も含めて各委員会で討議を重ね、準備を進めている。4月からの各委員会の開催状況は下記の通り。2021年1月7日現在、決定している概要をその下に掲載する。

2020年4月～2021年2月までの主要な委員会開催状況（主にZOOMを使用）

- ・組織委員会：第5回7/4、第6回11/7、第7回2/20
- ・学術委員会：第2回10/14、プログラム打合せ6/10、11/30、U40委員会9/4、10/30、12/24
- ・総務委員会：第2回10/29、第1回コア会議9/17
- ・登録委員会：打合せ10/8、第2回2月予定
- ・展示委員会：第2回8/4、第3回9/4、第1回1～2月予定
- ・広報委員会：第2回1/16 予定
- ・式典委員会：第2回10/16
- ・財務委員会：第1回8/18
- ・記録委員会：第2回5/26、第3回12/25
- ・男女共同参画等委員会：第2回10/23、第3回1/21
- ・ソーシャルイベント委員会：第1回10/29

1) 学術委員会

- ・19の分科会から推薦された40歳未満の若手委員20名から構成したU40委員会を設置、13セッションを提案した。
- ・136分科会に学術プログラム構成に関するアンケートを実施した。
- ・臨床系、基礎系、社会医学・看護系、医工学系のサブグループに分かれ、それぞれセッション案を提案、融合・整理、選定を経た後、4サブグループから提出された合計52セッションについて検討し、48セッションに絞った。
- ・日本医学会奨励賞を設置、総会で発表・表彰を行うこととした。
- ・日本医師会と連携して産業医の研修単位取得セッションの設置について準備を開始した。

2) 総務委員会

- ・会場については当初予定していた東京會館を取りやめ、代替施設として東京コンベンションホー

ルを予約した。

- ・分科会に対する認定単位協力依頼を検討する。

3) 展示委員会

- ・ワーキンググループを設置、医学史展、市民展示、学術展示について検討を開始した。医学史展のメイン会場の一つとして順天堂医学教育歴史館の使用を決定、インターメディアテクをもう一つの会場として予定している。展示内容や展示方法について検討している。
- ・万博大臣、担当者と面談、相互に連携することを確認した。

4) 記録委員会

岩波新書の発刊について検討、インタビュアーの選定、構成案を検討した。

5) 男女共同参画等委員会

男女共同参画の取組についていくつかの分科会に講演を依頼することを検討した。また、働き方改革についての市民公開講座を検討している。

6) その他

- ・式典委員会では開・閉会式の内容について検討した。
- ・財務委員会では協賛企業の洗い出しを行う。
- ・広報委員会ではホームページを開設した。(医総会サイト：<http://isoukai2023.jp/>)
- ・ソーシャルイベント委員会では15種目まで拡充した。
- ・136分科会へ趣意書を送付した。
- ・厚生労働省へ後援名義使用許可申請を行った。

7) 事務局

「第31回日本医学会総会 2023 東京」事務局

事務局長 小嶋照郎

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部附属病院中央診療棟2 (8F)

Tel.03-5800-8971 Fax.03-5800-6412

Email: isoukai31-gakkai@umin.org

2. 日本医学会幹事会

第4回日本医学会幹事会を、2021年2月26日(金)にwebにより開催した。主な議題は、「2020年度日本医学会年次報告」、「2021年度日本医学会事業計画」、「日本医学会創立120周年記念事業」、「日本医学会新規加盟学会および日本医学会加盟検討委員会報告改定(案)」、「学会名称の変更について」等である。

3. 日本医学会定例評議員会

第88回日本医学会定例評議員会を、2021年2月26日(金)にweb開催。主な議題は、「2020年度日本医学会年次報告」、「2021年度日本医学会事業計画」、「日本医学会創立120周年記念事業」、「日本医学会新規加盟学会および日本医学会加盟検討委員会報告改定(案)」等である。

4. 日本医学会シンポジウム

(1) 日本医学会シンポジウム

例年2回開催していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大傾向を受けて、6月に開催を予定していた第157回シンポジウムは12月に延期された。

●第157回日本医学会シンポジウム

2020年12月19日(土)、「遠隔診療とロボット支援手術の未来」をテーマに、日本医師会館大講堂にて、無観客で講演の収録のみが行われた。組織委員：近藤博史(鳥取大学医学部附属病院医療情報部教授／日本遠隔医療学会会長)、森 正樹(日本医学会副会長／九州大学大学院医学研究院消化器・総合外科学教授)、参加者数：8名(演者・役員のみ)、本年度の開催は1回である。

(2) 日本医学会シンポジウム企画委員会

標記委員会(委員：佐谷秀行、北川昌伸、南学正臣、瀬戸泰之、橋本英樹)は5名で構成されており、シンポジウムの基本方針、テーマおよび組織委員について企画構成を行っている。従来2回開催されているが、本年度は第157回シンポジウムの開催が6月から12月に延期された関係で、10月に1回開催された。

第5回日本医学会シンポジウム企画委員会(2020年10月14日)において、第158回シンポジウムのテーマ案について検討がなされた。

(3) 日本医学会シンポジウム記録

「第157回日本医学会シンポジウム」の全容を日本医学会ホームページ(HP)の「Online ライブラリー」の項で映像配信した(<https://jams.med.or.jp/>)。講演については従来、制作したDVDを関係各機関に配布し、さらにHPで動画配信を行っていたが、分科会にアンケートを取った結果、DVDがあまり活用されていない状況であることから、第157回以降DVDの制作は行わず、日本医学会ホームページ「Online ライブラリー」での映像配信のみ行うことになった。

(4) 日本医学会シンポジウムの講演要旨

講演要旨は、日本医師会雑誌に次のとおり掲載した。

第157回日本医学会シンポジウム「遠隔診療とロボット支援手術の未来」：第149巻12号(2021年3月号)

5. 日本医学会公開フォーラム

(1) 日本医学会公開フォーラム

新型コロナウイルス感染症の拡大傾向を受けてシンポジウムと同様、無観客にて講演の収録のみを行った。本年度は2回開催した。

●第27回日本医学会公開フォーラム

第27回日本医学会公開フォーラムは、「肺炎を理解する～肺炎予防の重要性とあなたもできる肺炎対策～」をテーマに2020年6月6日(土)、日本医師会館大講堂にて無観客収録した。組織委員長：

長谷川好規（日本呼吸器学会理事長）、参加者数：7名（演者・役員のみ）

●第28回日本医学会公開フォーラム

第28回日本医学会公開フォーラムは、「コロナへの対峙：保健・医療の変容とこれからの社会」をテーマに、2020年12月26日（土）、日本医師会館大講堂にて無観客収録した。組織委員長：磯 博康（日本公衆衛生学会理事長）、組織委員：大友康裕（日本災害医学会代表理事） 舘田一博（日本感染症学会理事長）、寺崎 仁（日本医療・病院管理学会理事長）、参加者数：9名（演者・役員のみ）。

（2）日本医学会公開フォーラム企画委員会

日本医学会公開フォーラム企画委員会（委員：跡見 裕、池田康夫、大木隆生、永山悦子、羽鳥裕、南 砂、綿田裕孝）は、日本医学会公開フォーラムの基本方針、テーマおよび組織委員について、企画構成を行う。本年度は、次のとおり2回開催した。

第6回日本医学会公開フォーラム企画委員会（2020年5月8日）において、第28回日本医学会公開フォーラムのテーマと組織委員長を決定した。

第7回日本医学会公開フォーラム企画委員会（2020年10月14日）において、第29回日本医学会公開フォーラムのテーマと組織委員を決定した。

（3）日本医学会公開フォーラム記録（DVD）

「第27回日本医学会公開フォーラム：肺炎を理解する～肺炎予防の重要性とあなたもできる肺炎対策～」DVDに制作し、関係各位に謹呈した。

また、DVDの内容は、日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」で映像配信した（<https://jams.med.or.jp/>）。

なお、「第28回日本医学会公開フォーラム：コロナへの対峙：保健・医療の変容とこれからの社会」以降はシンポジウムと同様にDVDの制作を行わず、日本医学会ホームページ「Online ライブラリー」で映像配信のみ行っている。

6. 日本医学会協議会

月1回、会長・副会長、日本医師会担当副会長・常任理事で定期的に開催されている。

7. 日本医学会医学用語管理委員会

日本医学会医学用語管理委員会は、日本医学会の委員会の中で最も歴史が古い委員会である。委員長：大江和彦（東京大学大学院医学系研究科教授・医療情報学）、委員：安西尚彦（千葉大学大学院医学研究院教授・薬理学）、石川俊平（東京大学大学院医学系研究科教授・衛生学）、今井 健（東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター准教授・医工情報学）、萩島創一（東北大学高等研究機構 未来型医療創成センター教授）、小野木雄三（国際医療福祉大学三田病院教授・放射線診断センター）、神庭重信（九州大学名誉教授／日本精神神経学会・理事長）、久具宏司（都立墨東病院産婦人科部長）、齊藤光江（順天堂大学大学院医学系研究科教授・乳腺科）、坂井建雄（順天堂大学保健医療学部特任教授・理学療法学科）、辻 省次（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授／東京

大学大学院医学系研究科寄附講座特任教授・分子神経学講座)、南学正臣(東京大学大学院医学系研究科教授・腎臓内科学)、森内浩幸(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授・小児科学)の13名(含委員長)により構成されている。

8. 「奇形」を含む医学用語の置き換えに関するワーキンググループ

患者や家族にとって辛い響きである「奇形」という用語を別の言葉に変える事を検討するため、2019年10月に医学用語管理委員会の下に発足したワーキンググループ(WG)である。

臓器名や病名に続いて「奇形」が用いられている用語について置き換えの提案を検討する。「奇形」を含む用語は様々あり、一律に置き換えられない問題を含んでいることから、WGで十分な議論を行い、分科会や関係する様々な分野の団体にも意見を伺い、コンセンサスを得たいと考えている。

座長：森内浩幸(長崎大学 小児科)、委員：大植孝治(兵庫医科大学 小児外科)、柏井 聡(愛知淑徳大学 視覚科学)、久具宏司(都立墨東病院 産婦人科)、小崎健次郎(慶應義塾大学 臨床遺伝学)、古庄知己(信州大学 遺伝学)、坂本博昭(大阪市立総合医療センター)、滝川一晴(静岡県立こども病院 整形外科)、西本 聡(兵庫医科大学 形成外科)、丹羽隆介(筑波大学 生存ダイナミクス)、榊屋啓志(理化学研究所バイオリソース C)、三木崇範(香川大学 神経機能形態学)で構成されている。委員は議論の内容によりメンバーがさらに加わることもある。

9. 日本医学会分科会用語委員会

2020年度日本医学会分科会用語委員会は年例年1回開催されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の関係もあり、本年度は開催していない。

10. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会

医学賞・医学研究奨励賞の選考作業は、日本医学会が日本医師会より委任されているもので、本年度は2020年8月28日(金)に開催された。

委員に加え、本年度は、特例委員として、吉村昭彦(慶應義塾大学医学部教授)、高橋英彦(東京医科歯科大学大学院教授)、渡邊 守(東京医科歯科大学理事・副学長)、堀 裕一(東邦大学医療センター大森病院教授)の4氏が加わった。

結果は、医学賞3名、医学研究奨励賞15名が選考され、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において表彰された。なお、医学賞受賞者の論文を日本医師会雑誌(第149巻第9号)に掲載した。

● 2020年度日本医師会医学賞

- ・オートファジーの分子機構と病態生理学的意義に関する研究
水島 昇／東大・分子生物学
- ・健康格差縮小を目指した社会疫学研究
近藤克則／千葉大予防医学センター・社会予防医学

- ・肝炎から肝臓に至る病態の解明と臨床応用

小池和彦／東大・消化器内科学

● 2020 年度日本医師会医学研究奨励賞

- ・ T 細胞受容体シグナル伝達における細胞骨格アクチンの分子制御機構の解明

Thumkeo Dean／京大・創薬医学

- ・ 大規模マルチオミクスデータの因果推定による糖尿病のリスク因子解明

鈴木 顕／阪大・遺伝統計学

- ・ 瘍血管内皮細胞の多様性の解明と新たな血管障害療法の開発

内藤尚道／阪大微生物病研究所

- ・ 幼若期における前頭前野の髄鞘形成は社会性を制御するのか？

牧之段学／奈医大・精神医学

- ・ 感染症流行下での NCDs リスクの変化の観察と介入可能項目の探索：一般地域住民コホートや出生コホートでの検討

目時弘仁／東北医薬大・衛生学・公衆衛生学

- ・ 左室収縮能が保たれた心不全の個別化医療を目的としたディープフェノタイピングによる新規クラスター構築

永井利幸／北大・循環病態内科学

- ・ 難病疾患・肺動脈性肺高血圧症に対する分子遺伝学的個別化治療戦略の構築

片岡雅晴／慶大・循環器内科学

- ・ 原発性硬化性胆管炎の病態解明

垣内伸之／京大・腫瘍生物学

- ・ 下肢末梢動脈疾患と冠動脈疾患における心血管リスク管理の比較検討

高原充佳／阪大・糖尿病病態医療学

- ・ 遺伝性胃癌臨床検体の網羅的ゲノム解析による上部胃癌の分子生物学的発癌メカニズムの解明

岩槻政晃／熊本大・消化器外科学

- ・ 食道癌に対する化学放射線療法の感受性の向上を標的とした革新的治療法の開発

中島雄一郎／九州がんセンター・消化管外科学

- ・ iPS 細胞創薬のアプローチによる内耳性難聴治療の開発研究

藤岡正人／慶大・耳鼻咽喉科学

- ・ 遺伝子多型を用いた前立腺癌薬物療法の予後予測法の開発

塩田真己／九大・泌尿器科学

- ・ 新規眼科手術補助剤開発による疾患病態理解と治療法開発への挑戦

久富智朗／福岡大筑紫病院・眼科学

- ・ 血管炎におけるメタゲノム解析による病原体の同定と発症メカニズムの解明

宮部千恵／女医大・皮膚科学

11. 日本医学会加盟検討委員会

日本医学会加盟検討委員会は、13 名の委員により構成。

2020年度第1回日本医学会加盟検討委員会を2020年6月30日（火）に開催した。2020年度第2回日本医学会加盟検討委員会を10月6日（火）に開催した。2020年度第3回日本医学会加盟検討委員会を12月3日（木）に開催し、今年度の加盟申請の29学会についての審査を慎重に行い、その結果を日本医学会協議会に提出した。因みにこの審査は、日本医学会加盟検討委員会報告（平成23年7月）に示された審査基準に基づいて行われている。また、2020年度第4回日本医学会加盟検討委員会を2021年1月14日（木）に開催した。

12. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

平成23年度に発足した委員会で、日本医学会として遺伝情報の取り扱い、検査の質保証、提供体制などに取り組むことを目的としている。委員長：福嶋義光（信州大学医学部遺伝医学部特任教授）、担当副会長：門脇 孝（国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長）委員：青野由利（毎日新聞東京本社論説室専門編集委員）、苛原 稔（徳島大学大学院医歯薬学研究部長）、尾崎紀夫（名古屋大学大学院医学系研究科教授・精神医学・親と子どもの心療学分野／ゲノム医療センター長・脳とこころの研究センター長兼任）、鎌谷洋一郎（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授・メディカル情報生命専攻複雑形質ゲノム解析分野）、杉浦真弓（名古屋市立大学大学院医学研究科教授・産婦人科学）、高田史男（北里大学大学院医療系研究科教授・臨床遺伝医学）、中村清吾（昭和大学医学部外科学講座教授・乳腺外科／大学病院プレストセンター 診療科長）、中山智祥（日本大学医学部医学科教授・臨床検査医学分野）、松原洋一（国立成育医療研究センター研究所長）、山内敏正（東京大学大学院医学系研究科教授・糖尿病・代謝内科）の11名の委員で構成されている。

本年度は2020年11月18日、2021年1月19日に開催された。

13. 日本医学会利益相反委員会

平成22年度に発足した「日本医学会臨床部会利益相反委員会」を、平成24年度に「日本医学会利益相反委員会」に改称した。委員長：曾根三郎（徳島大学名誉教授）、担当副会長：門脇 孝（国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長）、委員：石岡千加史（東北大学大学院医学系研究科教授）、植木浩二郎（国立国際医療研究センター糖尿病研究センター長）、荻田香苗（日本医学会幹事／杏林大学医学部教授）、寺井崇二（新潟大学大学院医歯学総合研究科教授）、土岐祐一郎（大阪大学大学院医学系研究科教授）、南学正臣（東京大学大学院医学系研究科教授）、浅井文和（日本医学ジャーナリスト協会会長／元朝日新聞社編集委員）、小笠原彩子（南北法律事務所弁護士）、小島多香子（東京医科大学准教授）の10名で構成。

本委員会と日本医学会連合研究倫理委員会と日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会と日本医学雑誌編集者組織委員会主催の第6回研究倫理教育研修会を「社会に向けた医学系学会の社会と責務」をテーマとして、2020年5月19日（火）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、中止となった。また、同日開催予定であった4委員会合同委員会も中止となった。

2020年度内に第20回利益相反委員会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、次年度に延期となった。

14. 日本医学雑誌編集者組織委員会

日本医学雑誌編集者組織委員会は、平成20年に発足した。委員構成は、委員長：北村 聖（東京大学名誉教授／地域医療研究所シニアアドバイザー）、担当副会長：岸 玲子（北海道大学環境健康科学研究教育センター特別招聘教授／名誉教授）、委員：有馬 寛（名古屋大学大学院医学系研究科教授）、遠藤 格（横浜市立大学大学院医学研究科教授）、木内貴弘（東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワークセンター教授）、北川正路（東京慈恵会医科大学学術情報センター課長）、黒沢俊典（特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会データベース事業部次長）、武田裕子（順天堂大学大学院医学研究科教授）、津谷喜一郎（東京有明医療大学保健医療学部特任教授）、中山健夫（京都大学大学院医学研究科健康情報学教授）、林 和弘（科学技術・学術政策研究所上席研究官）、湯浅保仁（東京医科歯科大学名誉教授）、吉岡俊正（東都大学理事・副学長）の12名である。

本委員会と日本医学会連合研究倫理委員会と日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会と日本医学雑誌編集者組織委員会主催の第6回研究倫理教育研修会を「社会に向けた医学系学会の社会と責務」をテーマとして、2020年5月19日（火）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、中止となった。また、同日開催予定であった4委員会合同委員会も中止となった。

第25回委員会を、2020年11月27日（金）に開催した。主な議題は、①「WPRIM（WHO西太平洋地域医学情報データベース）/APAME（アジア太平洋医学雑誌編集者会議）2020年会議報告、②日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン」の改訂について、③日本医学会利益相反委員会活動報告、④今後の活動について等であった。

15. 研究倫理教育研修会

日本医学会分科会全体で、研究倫理のあり方、研究不正問題の予防と発生時の対応について情報を共有し、各分科会会員の教育啓発に活かすことを目的として、日本医学会連合研究倫理委員会、日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会、日本医学雑誌編集者組織委員会、日本医学会利益相反委員会合同で、第6回研究倫理教育研修会を、「社会に向けた医学系学会の社会と責務」をテーマとして、2020年5月19日（火）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、中止となった。

16. 日本医学会子宮移植倫理に関する検討委員会

日本医学会子宮移植倫理に関する検討委員会は、日本産科婦人科学会と日本移植学会からの要望を受けて、倫理的な課題や社会的な影響、医学的な安全性を日本医学会として検討するために、2019年4月に新たに発足した。委員構成は、委員長：飯野正光（日本大学医学部特任教授／日本医学会副会長）、委員：会田薫子（東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター特任教授）、市川家國（信州大学医学部特任教授／日本医学会連合研究倫理委員会委員長）、苛原 稔（徳島大学大学院医歯薬学研究部長／日本産科婦人科学会倫理委員会副委員長）、加藤和人（大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学教授／日本生命倫理学会理事）、畔柳達雄（日本医師会参与／弁護士）、

國土典宏（国立国際医療研究センター理事長／日本移植学会倫理委員会委員長）、霜田 求（京都女子大学倫理学教授）、柘植あづみ（明治学院大学医療人類学教授）、町野 朔（上智大学名誉教授）、丸山英二（神戸大学名誉教授）、武藤香織（東京大学医科学研究所公共政策研究分野教授）、横野 恵（早稲田大学社会科学准教授）渡辺弘司（日本医師会常任理事）の14名。

2020年8月12日（水）に第7回委員会、8月27日（木）に第8回委員会、10月28日（水）に第9回委員会、2021年3月18日（木）に第10回委員会がそれぞれ開催された。

17. 日本医学会総会あり方委員会

日本医学会総会のあり方について、中・長期的な展望で検討する委員会で14名の委員で構成されている。

委員長：飯野正光（日本医学会副会長／日本大学医学部特任教授）、副委員長：森 正樹（日本医学会副会長／九州大学大学院医学研究院教授）、委員：門脇 孝（日本医学会副会長／国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長）、池田康夫（早稲田大学特命教授）、今村 聡（日本医師会副会長）、大槻剛巳（川崎医科大学教授）、春日雅人（朝日生命成人病研究所長）、岸 玲子（日本医学会副会長／北海道大学環境科学研究教育エンター特別招聘教授）、熊ノ郷 淳（大阪大学大学院医学系研究科教授）、小玉弘之（日本医師会常任理事）、齋藤光江（日本医学会幹事／順天堂大学医学部教授）、高橋雅英（名古屋大学理事）、森山 寛（東京慈恵会医科大学名誉教授）、柳田素子（京都大学大学院医学研究科教授）。

18. 再生医療等レジストリ協議会

再生医療等製品の市販後調査・治験等における患者登録システムの効率的な運用を目的として本年度より発足した。会の事務局は日本再生医療学会が行う。再生医療製品／臨床研究・臨床試験におけるレジストリ調査のあり方を検討し、実際に調査項目の策定までを行う。全体的なポリシーメイキングを行う再生医療レジストリ検討会と、個々の製品や研究の調査項目の策定を行う再生医療等レジストリ委員会の2つの会議体から成る。日本医学会分科会、PMDA、日本再生医療学会と連携をとりながら進めて行く予定である。2021年1月25日に第1回再生医療等レジストリ委員会を開催した。

19. 日本医学会創立120周年記念事業

日本医学会は明治35年（1902）4月2日～5日に16分科会が集合し、第1回日本聯合医学会を上野の東京音楽学校で開催しており、これを本会の公式な設立日としている。2022年は創立120周年にあたることから、記念式典、記念誌の発行、未来への提言作成が予定されており、これらを検討するため本年度に3委員会が発足した。今後、分科会、日本医学会連合の協力を得て進めていく予定。

1）記念式典委員会

森 正樹（日本医学会副会長：委員長／九州大学院医学研究院教授）、岩本幸英（幹事／九州労災病院院長）、苛原 稔（幹事／徳島大学大学院医歯薬学研究部長）、荻田香苗（幹事／杏林大学医学部教

授)、小室一成(幹事/東京大学大学院医学系研究科教授)、瀬戸泰之(幹事/東京大学医学部附属病院院長)、成宮 周(幹事/京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター長・特任教授)、松原謙二(日本医師会副会長)の8名で構成されている。第1回委員会を2020年8月25日(火)に開催し、記念式典を2022年4月2日(土)に開催すること、式典全体の概要や招待者について意見を交わした。2021年4月20日(火)に第2回委員会が開催される。

2) 記念誌委員会

坂井建雄(委員長/順天堂大学保健医療学部特任教授)、岸 玲子(日本医学会担当副会長/北海道大学環境健康科学研究教育センター特別招聘教授/名誉教授)、飯野正光(日本大学医学部特任教授/東京大学名誉教授)、今井由美子(医療基盤・健康・栄養研究所医薬基盤研究所ワクチン・アジュバント研究センター感染症制御ワクチンプロジェクトリーダー)、大江和彦(東京大学大学院医学系研究科教授)、門脇 孝(国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長)、北川雄光(慶應義塾大学病院長・教授/国立がん研究センター理事)、寺本民生(帝京大学臨床研究センター長・理事・名誉教授)、名越澄子(埼玉医科大学総合医療センター教授)、羽鳥 裕(日本医師会常任理事)、松下正明(東京大学名誉教授)、森山 寛(東京慈恵会医科大学名誉教授)の12名で構成されている。第1回委員会を2020年12月18日(金)に開催し、(1)120年記念誌作成について準備状況、(2)120年記念誌の内容と編集方針(現在の案)、(3)印刷以外の方法について、(4)今後の編纂委員会の開催予定等について意見交換を行った。

3) 「未来への提言」作成委員会

飯野正光(日本医学会副会長:委員長/日本大学医学部特任教授/東京大学名誉教授)、岸 玲子(北海道大学環境健康科学研究教育センター特別招聘教授/名誉教授)、門脇 孝(国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長)、森 正樹(九州大学大学院医学系研究科教授)、池田康夫(早稲田大学特命教授/武蔵学園副理事長/慶應義塾大学名誉教授)、稲垣暢也(京都大学大学院医学研究科教授)、春日雅人(朝日生命成人病研究所所長/国立国際医療研究センター名誉理事長)、小池和彦(東京大学大学院医学系研究科教授)、齊藤光江(順天堂大学大学院医学研究科教授)、遠山千春(筑波大学医学医療系客員教授/東京大学名誉教授)、宮園浩平(東京大学大学院医学系研究科教授/東京大学理事・副学長)、羽鳥 裕(日本医師会常任理事)、長谷川敏彦(オブザーバー/一般社団法人未来医療研究機構代表理事)の13名で構成されている。

第1回委員会を2020年5月26日(火)に開催し、(1)「提言」作成の基本方針、(2)「提言」項目、(3)今後の予定等について意見交換を行った。第2回委員会は2020年12月23日(水)に開催し、分科会宛てに行った『「未来への提言」アンケート』集計結果を基に、「未来への提言」キーワード等について意見交換を行った。

20. 移植関係学会合同委員会

平成4年4月に発足した移植関係学会合同委員会は厚生労働省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。本年度は書面決議による開催を2回(含追加申請1件)行い、新規移植実施施設の認定のほか、認定施設取り下げの報告を関係各位宛に報告した。

2020年5月26日付

新規認定

腎臓移植実施施設 獨協医科大学埼玉医療センター、旭川医科大学病院

小児心臓移植実施施設 九州大学病院

腎臓移植認定施設の認定取り下げ

医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院

2020年12月1日付

新規認定

肺移植実施施設 藤田医科大学病院

2021年2月18日付

腎臓移植認定施設の認定取り下げ

医療法人財団博仁会 キナシ大林病院

21. 日本医学会 e-News

平成元（1989）年度より発行している日本医学会だより（JAMS News）は、本年度から「日本医学会 e-News」に名称変更し、6月にNo. 1を、10月にNo. 2を発行した。今後も不定期に発行する予定。

22. 情報発信

平成12年10月に日本医学会のホームページを開設した。日本医学会分科会の協力を得て、本会のホームページ（<https://jams.med.or.jp/>）と分科会ホームページをリンクしている。現在、携帯電話からも見やすいよう、リニューアル化を進めており、本年度中の完成を目指している。

23. その他

- （1）「日本医学会分科会一覧」を2020年8月に作成、関係各方面に配付した。
- （2）「2021年日本医学会分科会総会一覧」（オンライン版）を2020年12月に作成した。